要旨

近年、環境問題や社会問題への関心が高まり、「エシカル消費」が注目されている。特に、SDGs や社会運動が重要なテーマとなり、若年世代が SNS を活用して気候変動やジェンダー平等などの問題に関心を持っている。一方で、実際の消費行動としては、他の世代に比べて若年世代の実践が少ないという現状がある。

このような現状を踏まえて、本論文では、女性はエシカル消費への関心は男性に比べて高く、その中で若年世代は他の世代に比べて、エシカル消費の実践率が低いという点から若年世代の女性に注目した。そして、多くの女性が手にする機会が多い化粧品に焦点を当てた。エシカルコスメユーザーがなぜエシカルコスメを使うのか使い続けるのかを明らかにすること、エシカルコスメをあえて使う理由を明らかにすることでエシカル消費促進に繋がりたいという問題関心のもと調査を行った。

調査の結果より、20～30 代の女性がエシカルコスメを使い始めるきっかけとしては、大きく分けて2つのパターンがあった。もともと SDGs やエシカル消費に関心があり、自ら進んでエシカルコスメを選んでいる人々と意図せざる結果としてエシカルコスメを使用している人々の2つのパターンである。

前者の人々は、環境問題や社会問題への関心からエシカルコスメを選び、その継続理由もボランティア経験などに基づいた環境問題や社会問題への関心の高さが関連していた。また、エシカルコスメは、活動家としての特殊性を緩和する役割を果たすが、外見に自信がある人が使うものと見なされることもあるため、使用することで容姿に自信があると捉えられることもある。一方、後者の人々は、知人の紹介や憧れのアイドル、流行によりエシカルコスメを使い始め、使用中にエシカルであることを知っていた。知人からの紹介でエシカルコスメを知った人々は、肌に合うという理由に加えて、使用過程で SDGs やエシカル消費自体に関心を持った人がいた。憧れている人との関連や韓国コスメをきっかけに知った人々は、使い続ける理由において肌に合うという理由に加えて憧れや他者からの評価を挙げており、いずれも環境や社会への配慮ではなく、自分軸でエシカルコスメを選択していることがわかる。

若年世代では「エシカル」の認識は高いが、実践は少なく、エシカル消費に対する誤解や認識のずれも見られる。エシカル消費を促進するためには、教育や実体験を通じて関心を持つことが重要であり、流行を活用することも効果的である。持続的な関心を持たせるためには深い理解を促進する必要がある